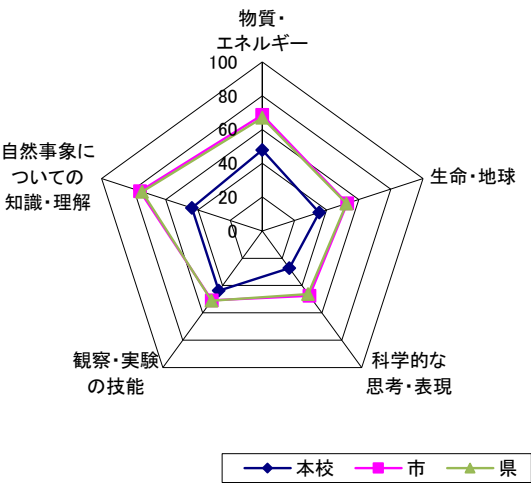


宇都宮市立富屋小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	47.9	68.6	66.9
	生命・地球	35.4	52.8	52.4
観点	科学的な思考・表現	27.2	47.4	46.2
	観察・実験の技能	43.8	50.8	51.1
	自然事象についての知識・理解	43.8	76.1	74.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	○「豆電球のつき方から、箱の中の回路の様子を推測する」設問については、県の平均正答率を上回った。 ●「光の性質」や「物と重さ」については、市・県の平均正答率を下回った。	・鏡や量り、虫眼鏡、豆電球など実験器具や道具に興味をもって取り組んでいるが、それを何のために使うかを明確にし、結果から分かることを、考えさせ、深めていけるようにする。 ・実験や観察による変化や様子に、しっかり着目させ、口頭による説明や記述による説明による言語活動を重視し、理解を深めるようにする。
生命・地球	○「昆虫の育ち方には一定の順序があることが分かる」「温度計の適切な操作方法が分かる」については、市・県の平均正答率を上回った。 ●「場所と見つけた昆虫の数のグラフをもとに考察する」「木の影ができなかった理由を説明する」「記録から温度を測った場所を選び、その理由を考察する」について、市・県の平均正答率を下回った。	・生活に基づいた実験や観察については理解できている。さらに、確実に身に付けていけるよう日々の活動の中で指導し、定着を図る。 ・実験や観察では、気が付いたことや分かったことを、ノートや記録カードに記録する習慣を身につけさせ、考えたことを交流することで、学び合えるようにする。